

社会福祉法人正寿会

創立30周年記念誌(2021)

理念
人間の尊厳を
支える介護の実践

30th



【ひまわり荘開設 三十周年】

社会福祉法人 正寿会

■概要

設立年月日 平成2年12月19日
所在地 神崎郡市川町下牛尾680
運営事業所 特別養護老人ホームひまわり荘
ひまわり荘ショートステイ
ひまわり荘デイサービス
ひまわり荘居宅介護支援事業
グループホームひまわり荘
デイサービスひまわりの広場
グループホームひまわり荘福崎の家
ひまわり荘訪問サービス
サービス付き高齢者向け住宅
プラチナスクエアひまわり

■理事

岡本 正信
田村 貴司
遠藤 眞廣
中塚 尚久
池澤 加代子
高瀬 佳世

■監事

壺阪 康裕
久保田 浩之

■評議員

林 康生
西村 正義
高井 一明
福永 誠
上田 憲一
鬼本 修
金鹿 和也

理念 人間の尊厳を守る介護の実践
基本方針 自分も自分の家族も利用したい
と思うサービスの提供



ひまわり荘デイサービス



グループホームひまわり荘



特別養護老人ホーム
ひまわり荘



サービス付き高齢者向け住宅
プラチナスクエアひまわり



デイサービスひまわりの広場
グループホームひまわり荘福崎の家

ご挨拶

特別養護老人ホームひまわり荘

創立三〇周年を迎えて

特別養護老人ホームひまわり荘は、長年にわたって温かいご支援とご協力を賜りながら、二〇二一年八月二〇日に創立三〇周年を迎えることとなりました。

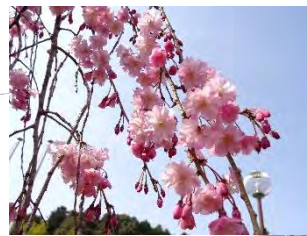
ひまわり荘は一九九一年八月二〇日に市川町で初めてとなる高齢者福祉施設として高齢者支援に特化した介護サービス事業を運営してまいりました。介護制度も措置に基づく時代から現在の保険制度へと移行し、様々な介護サービスが提供されております。三〇年の歴史の中で当法人も様々な困難を乗り越え、正寿会として特別養護老人ホーム、デイサービス、グループホーム、居宅介護支援事業所、訪問介護、サービス付き高齢者向け住宅等の施設介護サービスや在宅介護サービス地域住民や行政側と協議しながら取り組み、微力ではありますが市川町を中心とした地域の高齢者の福祉の拠点となるよう努めてまいりました。

今後予想される健康長寿時代、少子高齢化問題、社会的諸問題等の課題に對し、経営基盤の充実化、職員の人材育成、地域住民の雇用促進等に力を置き、様々な介護サービスを柔軟に提供し続けることが使命だと感じ、正寿会の運営理念のもと、私たちが歩んできた軌跡を糧として、新たな時代における社会福祉事業を展開してまいります。

最後に地域住民の皆様、行政、社会福祉に貢献して下さる方々、当法人の全従業員のご尽力に心からの感謝し、今後も引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 正寿会

理事長 岡本正信



ひまわり荘30周年祝辞



衆議院議員 山口 つよし

特別養護老人ホームひまわり荘設立三十周年、誠におめでとうございます。

岡本理事長、高瀬施設長をはじめ、職員の皆様の心のこもった施設運営に心から敬意を表します。いつ伺っても、ひまわり荘には明るい雰囲気満ちており、利用者の方々のみならず、家族の方々にとっても、ひまわり荘の存在は大変心強いものと存じます。長期入所や日帰り利用などの各種サービスについて、お世話を頂く職員、スタッフの皆さんのご努力、及び地域のボランティアの方々の献身的なご貢献がこの三十年間のひまわり荘の信頼と歴史を築いてくれたものと確信します。今後とも丁寧なサービスで益々頑張ってくださいとご期待申し上げます。私も更にお役に立たせて頂ければと存じますので、いつでも何でもおっしゃってくださいますようお願い申し上げます。

社会福祉法人正寿会と特別養護老人ホームひまわり荘の益々のご発展と、縁ありそこに集われる皆様、岡本理事長、高瀬施設長をはじめ、職員・スタッフの方々及びひまわり荘の活動を支えていただいている多くのボランティアの皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

兵庫県議会議員 上野 英一

特別養護老人ホームひまわり荘開設三十周年、誠におめでとうございます。

ひまわり荘は、地域における安心・終の棲家として、これまでも多くの利用者の方々はもとより、家族の方々や地域の方々に対して多大な貢献をされてきました。改めて、役員・スタッフ・ボランティアの皆様に敬意と感謝を申し上げます。

昨年から猛威を振るっているコロナ禍にあっても、感染防止に徹底した取り組みをされて、利用者の方々の命と健康を守ってられました。スタッフの方々におかれましては、大変な労働強化・精神的な負担になったと拝察いたします。本当にご苦勞様でございます。国や県においても、それらの負担に対して、一定の手当の加算等の対応を行なっていますが、決して十分なものではないと考えます。また、県や市町は感染者の対応に当たって懸命の努力を行なっていますが、その窓口である保健所と職員の削減が過去にあったことが現在思い知らされています。平成六年の法改正により、二十六あった県の保健所数は平成三十年には十二か所となり、また保健師数は人口十万人当たりの全国平均を十人近く下回っており、人口約五百万人の兵庫県では五十人ほど少ない計算になります。改めて、

介護や医療、保健所等の人でなければできない職場の人員・環境・待遇の改善を図らなければならぬことが明白となりました。なかなか一度には改善できませんが、皆さんと一緒に声を上げていきます。

最後になりますが、特別養護老人ホームひまわり荘の皆様が、元気で笑顔でご活躍されますことを、心からご祈念申し上げお祝いのご挨拶とさせていただきます。



市川町長 岩見 武三

特別養護老人ホームひまわり荘の創立三十周年にあたり、心からお喜び申し上げます。

貴施設におかれましては、創立以来三十年間の歴史を刻んでこられた高齢者福祉の拠点として、地域との交流も積極的に図られ、多大な御貢献をされています。また、岡部川の豊かな水を育み、田園に囲まれた自然環境の中で、ご利用者とご家族皆様の大きな支えとしての役割も果たされています。今日に至るまで、社会福祉法人正

寿会関係者様をはじめ、職員皆様の長年に渡るたゆまぬご努力に深く敬意を表す次第です。社会情勢の変化の中で、高齢者の方が住み慣れた「市川町」で安心して自分らしい暮らしを続けることができ、社会形成への取組みが重要です。本町では基本理念「地域で支えあい、健やかで生きがいを持つて暮らせるまちづくり」の実現を目指し、高齢者福祉と介護保険事業を一体的に推進するため、市川町高齢者福祉計画及び第八期介護保険事業計画を策定しました。高齢者の自立した生活を支援する施策を積極的に取り組むためにも、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症という課題に直面しながら、第一線で対応に奮闘されている関係者の皆様に対し、心からの感謝を申し上げるとともに、貴施設の益々のご発展と、関係者皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉と致します。



福崎町長 尾崎吉晴

特別養護老人ホームひまわり荘が設立三十周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

ひまわり荘は、創立当初から三十年にわたり「自分も自分の家族も利用したいと思うサービスの提供」を基本方針に運営をされ、利用者一人ひとりにあわせたきめ細やかなサービスの提供に創意と工夫を重ねてこられました。また、特別養護老人ホームをはじめデイサービスなど、さまざまな高齢者サービスを提供され、利用者・ご家族の方々に対してはもちろん、地域全体の福祉増進の要としての役割を果たしてこられました。これもひとえに、社会福祉法人正寿会の関係者の皆様のご尽力や、使命感と思いやり溢れる職員の方々の努力の賜と、深く敬意を表すとともに厚くお礼申し上げます。

少子高齢化や介護不足、また新型コロナウイルス感染症の昨今の情勢により高齢者福祉を取り巻く環境は厳しさを

増しています。福崎町といたしましても、全ての人が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるまちづくりをめざし、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が包括的に確保される地域ケアシステムの進化・推進に取り組んでまいります。今後とも、福崎町のまちづくりに一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、ひまわり荘のますますのご発展と関係者の皆様のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。



神河町長 山名宗悟

特別養護老人ホームひまわり荘創立三十周年、誠におめでとうございます。

「人間の尊厳を守る介護の実践、自分も

自分の家族も利用したいと思うサービスの提供」この理念が入所者、そして家族を支え、被介護者それぞれにあったきめ細やかなサービスを展開されてこられました。これもひとえに、社会福祉法人正寿会の関係者皆様のご尽力と昼夜を問わず介護に取り組まれている職員皆様のご努力の賜と深く敬意を表する次第です。

人生百年、誰もが自らの意思で健康に生き続けられるわけではありません。人は皆老いとともにこれまで出来ていたことがやがて出来なくなる。だからこそどのような状況にあっても命が尽きる時には「よく頑張った、お疲れさま、ありがとう」という気持ちで人生を見送りたいし、終えたいと誰もが願っています。

独居高齢者、高齢者夫婦の増加や認知症対策、福祉・介護人材の確保は大きな課題です。住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けられるよう、引き続き、医療・介護・予防・住まい・生活支援のさらなる連携・支援に取り組んでまいります。

結びに、いつまでも地域に愛される施

設としてご発展されますこと、関係者皆様の「ご活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



元福岡市長 嶋田 正義

ひまわり荘三十周年おめでとうございます。

創立のときにも参加したのですが、はや三十年が経過したんですね。

春はお花見、夏は納涼の盆踊り、年の瀬にはお餅つきなどなど、と行事にもよく参加させていただきました。

福岡町からもたくさんの方が入所されており、利用者とそのご家族の皆さんは、理事者や職員の方々、ボランティアの皆様

様の心温まるもてなしに大変喜んでおられた姿が心に残っております。

公職を退き、私たち夫婦は八十歳を超えました。子供たちが近くに住んでいないので、自分たちで生活ができなくなれば、老人ホームでの生活を真剣に考えるようになりました。人生の最後を飾る大切な場所ですが、日本政府の社会保障政策、特に老人対策は年ごとに後退しているように思います。その悪い影響なのでしょうか、マスコミでは職員の定着率の低下、職員採用に苦勞されている状況が伝えられています。よく「自助」が強調されますが、高齢者は「自助」が困難になり「公助・共助」に頼らざるを得ません。これからはますます入所希望者が増えるだろうと思われます。私は年を重ねても「まだもつと生きたい」と願っています。そして、人間らしく生きたいと思っています。

ひまわり荘の良き伝統を受け継いで、これからも高齢者が安心して暮らせる場所として、頑張つてほしいと願っています。

市川町民生委員児童委員協議会

会長 志水 正太郎

特別養護老人ホームひまわり荘が、今年で三十周年を迎えられたことに対しまして、心からお祝い申し上げます。

ひまわり荘設立以来、施設長をはじめ、役員の方々や職員の皆様方が熱意をもつて運営にあたられ、ここに三十年の歴史が刻まれたことに深く敬意を表します。

ひまわり荘におかれましては、高齢者ご本人やそのご家族が抱える不安を少しでも解消できるよう介護サービス提供はもとより、地域福祉の拠点として、福祉行政への参画やボランティアの受け入れ等も積極的に推進されており、まさに、市川町高齢福祉の先導的な役割も担われています。

市川町民生委員児童委員協議会におきましても、毎年ひまわり荘を訪問して利用者の方々と交流をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、昨年度から訪問ができなくなったことを非常に残念に思っております。

施設職員の皆様方も対策に苦慮されていることと存じますが、この状況が一日も早く収束し、再びひまわり荘で皆様と交流できる日が来ることを楽しみにしております。

今後、ひまわり荘が地域に愛され、親しまれる施設として、益々のご発展をお祈り申し上げお祝いの言葉といたします。



社会福祉法人

市川町社会福祉協議会

会長 前川 好文

ひまわり荘設立三十周年、誠におめでとございます。

市川町で初めての特別養護老人ホームとして創立されて以来、理事長、役員の方々をはじめ、職員や関係者の皆様が熱意を持って運営されておりますこと、また利用者の皆様が明るく穏やかに暮らしておられますことを大変喜ばしく、また心強く感じております。

この三十年間、福祉を取り巻く状況は様々に移り変わってきました。高齢社会から超高齢社会への推移、介護保険制度への施行、さらに団塊世代の介護問題が目の前に迫っております現在、介護に対するニーズや責務は、ますます大きくなってまいります。理事長、役員をはじめ職員の皆様方は、その大きな責務を全うするため、日々努力されていることと存じます。行事ごとに利用者の皆様方の生き生きとした顔を拝見しますと、「人間の尊厳を守る介護」を誠実に実践されているのだと改めて感服いたします。

最後に、ひまわり荘の益々のご発展と、利用者の皆様の末永いご健康とご長寿を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

市川町ボランティア連絡協議会

会長 明田 眞智子

ひまわり荘設立三十周年誠にめでとうございます。

設立当初から、人間の尊厳を守る介護の実践の理念のもと「自分も自分の家族も利用したいと思うサービスの提供をしたい」という基本方針をかげ、毎日、日夜努力を重ね、取り組まれておりますこと、大変ありがたく、心強く思っております。利用者の皆様におかれましても、ボランティア活動を通じて明るく、穏やかな様子を見せて頂きました。活動の間には、利用者の方々との会話等の折々に私たちが元気を頂いたり、又、色々なことを沢山教えて頂きました。ひまわり荘が設立されて間もなく、施設内での掃除をさせていただくボランティア活動が始まったと聞いております。その後利用者の皆様をお訪ねする訪問活動・生け花の活動・喫茶の時間のお手伝い・お花見や夏祭り等のお手伝い等様々な活動にながって参りました。ボランティアの皆

様も施設の利用者の皆様も少しずつ変わっていきますが、一期一会を大切にしながら、笑顔で楽しんで活動をして参ります。これからも、地道に活動を続け、ひまわり荘の皆様と共に末永く歩んで参りたいと思っております。

近年新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設へ訪問することができません。早くコロナが終息して施設へ訪問をさせて頂いて、皆様のお顔を見てボランティア活動が出来ますことを願っております。

最後になりましたが、ひまわり荘の益々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



ひまわり荘家族会 後藤 裕子

ひまわり荘開設三十周年、おめでとうございます。

主人の両親は、最初デイサービスからお世話になり、ショートステイを兼ねながら、約二年お世話になった後、ケアマネージャーさんからのすすめもあり、スムーズに入所できる運びとなり、入所三年余りを迎えております。その間、本当に親身になって介護していただき、感謝の思いで一杯です。

今では、コロナ禍で「お花見」「夏祭り」などの恒例行事も出来なくなっておりますが、職員の方々がお仕事で忙しい中、練習をされた芸を披露して下さい、楽しい思い出をたくさん残して下さい、感謝で一杯です。

また、入所してからは、義父は特養、義母はグループホームと別れての生活となりましたが、いろいろとご配慮をいただき、昨年、義父を看取る時にも、お部屋を用意していただき、義母も最後の別れをすることが出来、子供や孫に看取ら

れながら、一筋の涙を流しながら旅立ってゆきました。本当にコロナ禍の中、親身になって対応していただいたこと感謝しております。今後も、地域の皆様にとつてなくてはならない頼りになる介護施設「ひまわり荘」のご活躍を期待しておりますと共に、これからも宜しくお願い致します。



ひまわり荘家族会 埴岡 富好

「私たちの心の良きパートナーとして」

ひまわり荘創立三十周年、おめでとうございます。

今年九十歳を迎える母は「ひまわり荘」に入所させて頂いてから三年目を迎えています。元気に楽しく過ごしております。

三年前、高齢とはいえ、グラウンドゴルフ、ゲートボールに元気に参加していた母が急にクモ膜下出血で倒れ、奇跡的にも大きな後遺症は出ませんでした。病院でのベッド生活を余儀なくされた母は足の筋肉が弱り自立歩行でのトイレ、排便処理が難しい状態となりました。

病院が固定化する中、退院後の受け入れについて、仕事をやめ実家に戻るべきか、私たちで母の「下の世話」が実際に長期にわたってできるのかなどの悩み・苦しみを病院関係者にも相談に乗ってもらった結果、「ひまわり荘」で母を受け入れて頂けることになり、思いのほか母も快く入所に同意してくれました。

入所してからは、デイに通うこととなった父と談笑し、月に一度は帰宅し、夫婦ともに孫・ひ孫たちと食事を楽しんでいましたが、現在は、コロナの為配慮していただいている「オンライン面会」を孫たちと共に活用させて頂いております。「オンライン面会」での母の口癖は、「私は元気、心配いらん」「みんなに優しくしてもらっているから何も困っていない

い」「私が帰るまで、お父さんをよく見てやって」です。いつも明るく、元気に話す母の姿を見るたびに、本当に受け入れて頂いて良かった、自分たちでは十分な世話ができなかったと家族みんなが「ひまわり荘」の皆様から感謝しています。

最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈り致しますと共に今後とも「私たちの心の良きパートナー」として宜しくお願いいたします。



ひまわり荘家族会 伊藤 真一郎
「お祝と感謝に寄せて」

ひまわり荘創立三十周年誠におめでとうございます。

「特養」という耳慣れない言葉の始まりは私の現役時代、大阪の建設会社に勤務の頃、滋賀県の近江八幡市で「特養ホーム」を受注し、裕福な方の隠居所位の感覚はありませんでした。

また、現在グループホームにお世話になっていきます家内が夏祭りや各イベントのお手伝いに行くときについて行った記憶がある位で、私たちにとってはあまり縁のない存在でした。阪神淡路大震災の時、神戸への炊き出し、社協の給食作り、趣味の大正琴等幅広く活動してきた家内に徐々に変化が現れて来たので五年前から遠方の老健やら介護センターにお世話になりながら三年間必死で支えてきました。私自身が共倒れ寸前まで行ったとき、幸運にも「グループホームひまわり荘」に入所させて頂き、やっと肩の荷が降りました。

「ホーム」内はとても明るく清潔で、又職員の皆様には親身にお世話して頂き感謝しております。現在は「コロナ渦」で面会は出来ませんが、一日も早い終息を願っています。

理事長、施設長をはじめ職員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



御礼

社会福祉法人 正寿会

理事 田村 貴司

ひまわり荘が創立三十周年を迎えられたことは、地域の方、ボランティア、行政の方等、多くの方々のご理解とご協力、そしてご指導の賜物と存じます。心よりお礼を申し上げます。

また、昨年来のコロナ渦において、ご家族の面会等に支障をきたすこともありましたが、利用者・ご家族の皆様にご理解とご協力をいただきましたことを、大変感謝しております。誠にありがとうございます。

さて、社会福祉法人の数は多少鈍化はしているものの継続して増加し、また老人ホームの施設数・定員も増加する中、当法人は、利用者を選ばれる施設であること、何より当法人の基本方針である「自分も自分の家族も利用したいと思うサービスを提供」を実現すべく邁進して参りました。

近年、情報化社会が発展し、また、情報技術は加速度的に進展しておりますが、当法人は、利用者の皆様一人一人の精神的な豊かさや生活の質の向上を追及するためには、職員と利用者の皆様との直接的な対話やふれ合いが以前にも増して重要になってきているものと考えております。

幸い、ひまわり荘のあるこの地は、折々に咲く花や鳥たちの鳴き声など美しい自

然に恵まれているため、従前、ひなまつり、お花見、七夕、干し柿づくり、などなど季節ごとに行事を開催してまいりました。上述の情報化社会に伴うライフスタイルの変化に伴い、地域の伝統的な行事や食が失われつつあるようですが、当法人は、業務上の日常的な対話、ふれ合いに加え、これらの行事を通じて、さらに利用者の皆様と直接触れ合う機会を増やしていきたいと考えております。

今後当法人は、社会環境の変化に対応しつつも、変えるべき部分、変わらない部分を役員・職員ともに協議をし、利用者・ご家族の皆様が真に求める介護サービスが何かを把握して、それらを着実に実現すべく専心する所存です。

今後とも従前どおり暖かいご指導ご協力の程、何卒宜しくお願いいたします。



平成 28 年度 ～ 令和 2 年度
お世話になった皆様のご紹介

いつもありがとうございます

市川中学校
瀬加中学校
瀬加小学校
川辺小学校
瀬加保育所
日ノ本学園高等学校
市川町民生委員児童委員協議会
市川町社会福祉協議会
市川町ボランティア連絡協議会
連合兵庫西部地域協議会
JA兵庫西神飾介護センター
播州信用金庫福崎支店
(株)世光電気
(株)カマタニ
福永工務店
亀坪歌謡舞踊クラブ
踊りボランティア
天理教神崎支部
上瀬加有志の方
リトルバイリトル
アミューズ 24
いなみの学園
下岡老人会
ちとせ会

なるみ堂
きさらぎ会
どんぐり
有美会
一菖会
若瀬会
日車衆
みち
とき
結
浅野亭わろてんか
藤本雄剛
福・福ボランティア会
沼田昭雄
大正琴
東郷ひろみ
ぱらしゅーと舞台
田中政樹
尾根ひろ子
東 婦美子
高嶋 秀典
森 弥生
古川 隆司
堀尾 幸二
安井 真人
(敬称略 順不同)

玉ねぎの差し入れ



清掃奉仕



車椅子清掃



門松・しめ縄飾り・葉牡丹作り



お手玉



手作り耳かき



籠



てぬぐい



ティッシュケース



タオル等寄贈



生花クラブ



夏祭り準備



利用者対応



十二支折紙



行事報告



お花見会



太鼓演奏会



夏祭り



日ノ本学園ボランティア



瀬加小学校学習発表会にて



もちつき大会



レクリエーション大会

2016(平成28年度)

グループホームとの合同行事

- 5月 16日 日帰りバス旅行(神戸動物王国へ)
- 31日 川辺小学校運動会予行演習見学
- 6月 4日 瀬加小学校運動会
- 17日 クリームパフェ作り
- 7月 7日 セ夕会
- 9月 27日 瀬加小学校学習発表会
- 10月 20日 日帰りバス旅行(神戸市立須磨水族館)
- 2月 3日 豆まき

●特別養護老人ホーム ひまわり荘

- 毎月 散髪・月参り・売店
- 随時 誕生日会・たこやき・どらやき
- グルメ in ひまわり荘
- (焼肉・うどん・会席・喫茶等)

- 5月 12日 喫茶ドライブ (にゅうにゅう工房)
- 6月 8日 日帰りバス旅行(姫路城)
- 8月 10日 セせらぎの湯へ
- 11日 縁日
- 8月 18日 花火
- 9月 30日 運動会
- 10月 25日 グルメツアー (もちむぎの館へ)
- 27日 お楽しみ会 (紙芝居)
- 11月 24日 ひまわり映画館
- 11月 30日 瀬加小学校もちつき大会
- 12月 2日 レクリエーション大会
- 21日 クリスマス会
- 1月 12日 とんど
- 1月 28日 新年会
- 3月 3日 雛祭り

●グループホーム ひまわり荘

- 4月 12日 花見
- 24日 ドライブ 鯉のぼり (グリーンエコー笠形)
- 5月 25日 BBQ～交流会～
- 6月 2日 ランチ&ドライブ・散歩 (辻川公園周辺)
- 7月 1日 ドライブ・不在者投票・買い物
- 21日 市川中学校ボランティア
- 28日 日ノ本学園ボランティア
- 8月 8日 市川中学校ボランティア
- 27日 夏祭り
- 12月 21日 鍋パーティー
- 24日 クリスマス会
- 3月 17日 ドライブ (幸せの黄色いハカチ)

●グループホーム ひまわり荘福崎の家

- 4月 9日 ひまわり荘 お花見会
- 5月 21日 演奏会
- 7月 16日 歌ボランティア会
- 8月 1日 太鼓演奏会
- 7日 市川グループホームとの交流会
- 9日 花火見物(福崎祭り)
- 27日 夏祭り(特養にて)
- 9月 17日 音楽の会
- 21日 敬老お祝い会(特養にて)
- 10月 8日 屋台見学(地域)
- 12月 17日 福崎の家 忘年会
- 25日 クリスマス会
- 1月 1日 初詣
- 12日 もちつき
- 3月 28日 舞踊を楽しむ

2017 (平成29年度)

グループホームとの合同行事

ひまわり荘お花見会
瀬加小学校運動会
七夕会・ひまわり荘祭り
クリスマス会

●特別養護老人ホーム ひまわり荘

毎月 散髪・月参り・売店
随時 誕生日会・たこやき・ワッフル
グルメ in ひまわり荘
(すきやき・会席・喫茶等)

季節行事

ひなまつり・花火見学・秋祭り屋台見学
クリスマス会・忘年会・初詣・お餅つき

- 4月 16日 名作映画観賞会
- 25日 レクリエーション
- 5月 28日 名作映画会&屋外喫茶
- 30日 川辺小学校運動会 予行演習
- 6月 11日 レクリエーション
- 22日 日帰り旅行
(夢乃そばレストラン・にゅうにゅう工房)
- 7月 28日 ビアガーデン
- 31日 アイスクリームを食べに(市川サービスエリア)
- 8月 30日 縁日
- 9月 25日 お月見会・運動会
- 11月 16日 ひまわり劇場と手作り喫茶
- 1月 9日 新年会
- 11日 とんど
- 31日 寿司ツアー
- 12月 2日 節分豆まき
- 13月 13日 フレンチトースト

●グループホーム ひまわり荘

- 4月 2日 ドライブ
- 5月 8日 ドライブ(グリーンエコー笠形)
- 6月 12日 ケーキ・イキング(大陸で購入)
- 27日 不在者投票とひのすたへ買物
- 7月 6日 瀬加小学校交流会
- 10月 11日 瀬加小学校学習発表会
- 11月 15日 不在者投票と買い物ツアー
- 11月 16日 焼き芋
- 11月 8日 おりがみ
- 12月 31日 鍋と年越しそば
- 1月 1日 正月あそび すごろく カタ取り
- 1月 2日 書初め

●グループホーム ひまわり荘福崎の家

- 4月 13日 14日 花見ドライブ
- 5月 22日 グリーンエコー笠形
- 8月 30日 ミニ夏祭り
- 9月 11日 太鼓演奏会(ひまわりの広場にて)
- 23日 田原小学校運動会
- 10月 2日 ミニ運動会
- 8月 7日 秋祭り見学
- 25日 芋ほり
- 11月 7日 踊り(ひまわりの広場にて)
- 14日 ボランティアによる演奏
- 20日 踊りを見学(ひまわりの広場にて)
- 1月 17日 ひまわりの広場、福崎の家合同もちつき
- 2月 3日 節分
- 14日 ボランティアによる演奏 よみきかせ



名作映画観賞会



瀬加小学校交流会



田原小学校の運動会へ



芋ほり



書初め



節分 豆まき



2018(平成30年度)



ねこカフェ



市川中学校ボランティア



お花見ドライブ



カラオケクラブ



魚釣りゲーム



演芸会

グループホームとの合同行事

ひまわり荘お花見会

七夕会(瀬加保育所交流会)

●特別養護老人ホーム ひまわり荘

毎月 散髪・月参り・売店

随時 誕生日会・たこやき・ワッフル

グルメ in ひまわり荘

(すきやき・会席・喫茶等)

季節行事

ひなまつり・花火見学・秋祭り屋台見学

クリスマス会・忘年会・初詣・お餅つき

- 4月 19日 グルメツアー デザート(膳へ)
- 5月 14日 手柄山公園と外食(びっくりトンキーへ)
- 15日 実習生と一緒にレクリエーション
- 18日 実習生と一緒にレクリエーション
- 30日 屋外カーラッチ
- 6月 19日 ねこカフェ
- 8月 23日 施食法会
- 27日 縁日
- 29日 かき氷
- 9月 8日 ひまわり荘祭り
- 27日 運動会
- 10月 10日 瀬加小学校学習発表会
- 23日 秋のドライブ～日帰り旅行～
- 25日 お茶会
- 11月 19日 ひまわり劇場と手作り喫茶
- 30日 ゲーム大会
- 1月 2日 巨大サケゲーム大会
- 2月 4日 節分
- 3月 27日 春の外出～もちむぎのやかた・膳～

●グループホーム ひまわり荘

- 4月 4日 花見ランチ
- 12日 ひのスタへ買い物ドライブ
- 5月 6日 ひのスタへ買い物ドライブ
- 8日 グリーンエコーヘッドドライブ
- 8月 4日 市川中学校ボランティア 卓球部
- 10日 市川中学校ボランティア バス部
- 10月 11日 秋ドライブ
- 12月 8日 カラオケクラブ
- 1月 15日 とんど
- 2月 3日 節分

●グループホーム ひまわり荘福崎の家

- 4月 1日 花見ドライブ
- 4日 花見ドライブ
- 5月 9日 歌の会(ひまわりの広場にて)
- 8月 23日 施食法要(特養にて)
- 9月 23日 田原小学校運動会見学
- 11月 15日 とんど(特養にて)
- 21日 演芸会(特養にて)
- 2月 22日 歌声グループボランティア(ひまわりの広場)
- 3月 29日 避難訓練(ひまわりの広場と合同)





瀬加小学校運動会



一緒にゲーム



七夕会



縁日



みかん狩り



クリスマス会



2019 (令和1年度)

グループホームとの合同行事

ひまわり荘お花見会

施食法会・ひまわり荘祭り

クリスマス会・とんど

豆まき

●特別養護老人ホーム ひまわり荘

毎月 散髪・月参り・売店

随時 誕生日会・昼食会・お楽しみ会

グルメ in ひまわり荘(会席・喫茶等)

グループホームとの交流会

季節行事

ひなまつり・花火見学・秋祭り屋台見学

クリスマス会・忘年会・初詣・お餅つき

- 6月 6日 実習生と一緒にゲーム
- 7月 3日 瀬加小学校交流会
- 5日 七夕会
- 9日 お寿司 (はま寿司へ)
- 8月 28日 縁日
- 9月 13日 西グループ グルメツアー
- 25日 瀬加小学校学習発表会
- 27日 運動会
- 10月 31日 秋のドライブ 外食
- 12月 19日 年賀状の作成
- 1月 1日 じゃんぼ干支かるた大会
- 2月 14日 バレンタイン喫茶

●グループホーム ひまわり荘

- 5月 9日 ドライブ (グリーンエコー笠形へ)
- 6月 1日 瀬加小学校運動会
- 24日 想定避難訓練
- 8月 28日 市川中学校ボランティア (卓球部)
- 9月 19日 ドライブと買い物
- 10月 13日 ドライブ

●グループホーム ひまわり荘福崎の家

- 4月 18日 外食
- 5月 17日 外出 喫茶店 (膳へ)
- 7月 7日 七夕会
- 8月 22日 施食法要 (特養へ)
- 10月 4日 喫茶店 (膳へ)
- 12日 福崎町秋祭り (熊野神社へ)
- 12月 13日 みかん狩り
- 25日 ボランティアさんの手品
- 1月 15日 とんど (特養へ)
- 22日 太鼓 演奏会 (ひまわりの広場にて)
- 3月 12日 バイキング会

新型コロナウイルス流行により外出が難しくなり、施設内での行事が主となりました。



2020（令和2年度）

●特別養護老人ホーム ひまわり荘

毎月 散髪・売店

随時 誕生日会・昼食会・ケーキ・イソグ
スイーツ・喫茶等

季節行事

ひなまつり・花火見学・クリスマス会
忘年会・初詣・お餅つき

- 6月 22日 西グループ 大きなシャボン玉作り
- 7月 8日 七夕会
- 8月 25日 縁日
- 9月 22日 敬老会
- 10月 27日 スイーツ喫茶とレクリエーション
- 11月 25日 東グループ お寿司（はま寿司持ち帰り）
- 12月 14日 年賀状
- 1月 1日 お正月遊び
- 3日 とんど
- 2月 2日 節分（豆まき）

●グループホーム ひまわり荘

- 4月 3日 花見とおやつ
- 8日 屋外でランチ（特養芝生にて）
- 10日 屋外でおやつ
- 5月 1日 芝生でおやつ（特養にて）
- 6日 芝生でランチ（特養にて）
- 9月 3日 縁日
- 13日 縁日

●グループホーム ひまわり荘福崎の家

- 4月 3日 お花見ドライブ
- 8月 15日 ミニ夏祭り
- 9月 25日 ミニ運動会
- 21日 敬老会
- 2月 2日 節分（豆まき）



ミニ夏祭り



縁日



敬老会



オンライン面会



スイーツ喫茶



クリスマス会



11・12月：デイサービス ワゴン車購入



2月：ひまわりの広場 特浴機購入

施設外研修

平成28年度

- ・ ケアステーションかんざき介護支援専門員連絡会(全6回)
- ・ 福岡町介護支援専門員連絡会(全6回)
- ・ 市川町介護支援専門員連絡会(全3回)
- ・ 初歩から学ぶ介護支援専門員の倫理
- ・ 中・重度者のよい姿勢を保つためのシーティング技術
- ・ 拘縮予防・改善の取り組みと排泄ケア
- ・ 認知症を持つ方への関わり方と排泄ケア
- ・ 高齢者ケア学習会
- ・ サービス提供責任者研修
- ・ 「改正社会福祉法」最新情報&制度改革対応セミナー
- ・ 新任職員ステップアップ研修
- ・ 第2回HCC播磨介護技術競技大会
- ・ 郡内社会福祉法人合同勉強会
- ・ 社会福祉法人制度改革対応セミナー

平成29年度

- ・ ケアステーションかんざき介護支援専門員連絡会(全6回)
- ・ 福岡町介護支援専門員連絡会(全6回)
- ・ 市川町介護支援専門員連絡会(全3回)

平成30年度

- ・ ケアステーションかんざき介護支援専門員連絡会(全6回)
- ・ 福岡町介護支援専門員連絡会(全6回)
- ・ 市川町介護支援専門員連絡会(全3回)
- ・ ケアマネジメントの本質
- ・ 生活の場からみる拘縮ケアの実践
- ・ こころを学び、ここに寄り添うコミュニケーション術
- ・ 公開講座「気づきの事例検討会」
- ・ 介護支援専門員と相談支援専門員のつながる研修
- ・ 利用者とのよりよい関係づくり アセスメントを基礎から学ぼう
- ・ 学ぼう「気づき事例検討会」見て感じる「気づきの事例検討会」

平成31年・令和元年度

- ・ ケアステーションかんざき介護支援専門員連絡会(全6回)
- ・ 福岡町介護支援専門員連絡会(全6回)
- ・ 市川町介護支援専門員連絡会(全3回)
- ・ 兵庫県女性施設長フォーラム
- ・ 教えて高齢者の糖尿病ケア
- ・ 高齢者の口腔内と健康とケア
- ・ 高齢者の服薬支援と多職種によるサポート
- ・ 多職種連携を支える連携のマナー、気配りのコツ
- ・ 兵庫県4DAS基礎研修
- ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護充実支援研修

令和2年度

- ・ ケアステーションかんざき介護支援専門員連絡会(全4回)
- ・ 福岡町介護支援専門員連絡会(全5回)
- ・ 市川町介護支援専門員連絡会(全2回)
- ・ 医療施設内の感染予防対策
- ・ 新型コロナウイルス感染症の対応と予防策
- ・ 高齢者施設における看護(感染)
- ・ 介護職員などによる痰吸引等研修事業講習会
- ・ 摂食嚥下障害
- ・ 高齢者施設における看護
- ・ 気付きの事例検討会支部推進員研修
- ・ 神崎郡医師・ケアマネージャー連絡会
- ・ 高血圧の予防と対策
- ・ よりよい連携の為にツールの活用を考える
- ・ 看取りの現場と地域病院での現状



施設内研修

定例研修

- 理念・方針・倫理・法令
- 認知症ケア研修
- 食中毒防止研修
- 感染症防止研修
- 身体拘束廃止研修
- 救命・救急研修
- タミナル研修
- 褥瘡予防研修
- 虐待防止研修
- 介護保険制度について
- 感染予防について

平成28年度

- 中堅職員研修
- 食中毒予防研修
- 初歩から学ぶ介護支援専門員の倫理
- 拘縮について
- メンタルヘルス研修

平成29年度

- 総合事業について
- 事故発生研修 腰痛体操
- 介護保険改正について

平成30年度

- 認知症介護について
- 拘縮予防研修
- 事故防止研修
- 苦情について
- 各事業所方針、働き方改革について

令和1年度

- 高齢者の服薬介助について
- QOL、事故防止、グループワーク

令和2年度

- コロナ感染拡大の影響により開催を自粛しました

コロナ対策として・・・

2020

(令和2年)

・・・4月・・・

新型コロナウイルス拡大により、インフルエンザ等対策特別措置法で緊急事態措置区域となる

5月21日 解除

2021

(令和3年)

・・・1月・・・

再び
緊急事態措置区域となる

2月28日 解除

・・・4月・・・

まん延防止等重点措置実施となり、市川町も兵庫県緊急事態措置実施区域となる

6月20日 解除

・・・6月・・・

再び
まん延防止等重点措置実施となる

ひまわり荘でも厚生労働省・兵庫県の措置に伴い、迅速な対応と対策を実施しました。
ご家族の皆様にもご面会の中断のご協力や物資のご支援などを頂きました。

緊急物資の確保



マスク・消毒液などの物資不足と高騰化の中、備蓄に努める。

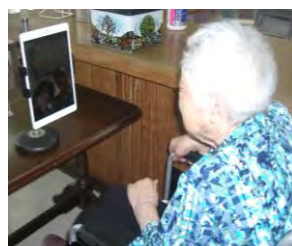
来所者用手洗い場の新設や感染予防対策



利用者の入退院時の隔離対応、また施設来訪者用手洗い場の新設、職員の休憩場所にも飛沫対策を施す。

オンライン面会・ガラス越し面会の実施

ご家族との対面が難しい期間、その都度窓越し面会やオンラインでの面会を予約制で実施。



手指消毒と防護エプロンの着脱研修

緊急事態に備え、職員への研修を実施。



施設内飛沫防止清掃

職員からの感染予防のため、利用者の入浴や対応をフェイスシールド着用で行う。利用後の室内の消毒も徹底。



2021年8月現在もコロナ拡大が増し予断を許さない状況ですが、気を抜かず頑張ります！！

コロナウイルスワクチン接種

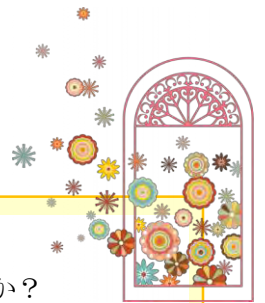


令和3年6月下旬から7月中旬にかけて2度に渡る利用者の施設内ワクチン集団接種を実施。職員も職域接種で順に接種。

委員会の紹介

～日々の私たちの取り組み～

ここに一部ですが紹介させていただきます



ターミナル期の看取り

『生き続ける事は大変かもしれない』と感じる状態になったらどのように過ごしたいですか？
高齢者の多くは「家に帰りたい、家族と過ごしたい、楽に死にたい、ポックリと死にたい」と答えられます。
そして誰もが世話をされる期間は短く、しかし世話の内容は最高に、と希望されます。

施設では早めにご家族と話し合いを重ね、コロナ禍の中でも、人数や時間の制限内であれば何度でも面会していただき、言葉を掛け、身体に触れ、ご家族と過ごす時間を作っています。また、何か食べたいものはないか尋ね、ご家族が持参されたものをその場で食べていただいています。次第に食べるものが減って眠ってしまうのは、命の終わりに近づき、“食べられなくなった”のではなく“食べることを終了し命を閉じる準備に入られた”と説明し、点滴等に頼るのではなく、少量の飲み物を一匙ずつ提供します。

自然に最期まで静かに生き終えられた方は、尊く安らかです。ご家族も職員も、皆が平穏な気持ちで最期を見守りたいと思っています。

QOL 向上委員会

QOL 向上委員会では、ご利用者がその人らしい暮らしを送る事ができるように、日々過ごされる環境を見直し、改善するなど、生活の質の向上を図る取り組みを行なっています。

“全てをお手伝いさせてもらうのではなく、現存機能を活かし自分でできるところは自分でしてもらう”
“何を望んでおられるかを考え、耳を傾け、寄りそう”

ご利用者 1 人 1 人に合った生活支援の方法があり、それを見出せるよう活動しています。

今年度は、各職員がご利用者へのケアを今一度見直し、改善の必要性があれば、皆で考え意見を出し合える環境を作る取り組みを行なっています。ひまわり荘で過ごされるご利用者に、ここに来て良かった、安心できる、と感じてもらえるよう日々精進していきます。

事故防止対策委員会

委員会を通して、なぜ事故が起きるのかを考え、対策をしています。

大きな事故が起きる前には、小さなヒヤリが 300 個隠れていると言われています。

日々のご利用者との関わりの中で、小さなヒヤリを見逃さず、記録し、皆で検討し、それを元に大きな事故を防いでいます。

常に危険予測を怠らず、ご利用者に安全に生活していただけるよう活動しています。

防災安全委員会

防災安全委員会では、年 2 回の避難訓練を始め、防災器具取扱いの説明、機器類の点検等を通して、職員、ご利用者に防災意識を高められる活動を心掛けています。

また、山々に囲まれた豊かな自然環境で安心して生活していただく為にも、施設の外回りにも気を巡らし、いつ起こるか分からない自然災害に対しても対応できるよう、常日頃から活動しています。

排泄委員会

その人その人に合った排泄のペースを掴み、時間を見てトイレへの言葉掛けを行い、必要に応じてお手伝いしています。

排便困難な方には、下剤に頼る前に、自然排便を促すマッサージを行い、デトックススープや乳製品の提供を行なっています。

自分でトイレでの排泄を叶える為の委員会として、日々ご利用者のケアに当たっています。



私達、がんばってます！

特養主任 正中 由佳理



私は就職して二十余年、ひまわり荘にてたくさんの方々と出会い楽しく過ごした日々もあれば、悲しい別れも経験してきました。

今は最期の時間を一緒に過ごす事で、多くの事を勉強させていただいています。入社当初は忙しかった利用者様に戸惑い、この対応で良かったのだろうかと思ひ日々でした。そんな中、ご家族や利用者が「ひまわり荘に来て良かった」「ここで穏やかな顔で逝けて良かった」と言ってくれた時は、自分達がやっている事は間違いないでなかったと心温まる瞬間でした。

コロナ禍でなかなかご家族と一緒に過ごす時間が少なくなっている今、私達は利用者の方々が楽しみを持ち、笑顔で「ひまわり荘に来て良かった」と言っていただけのようにがんばりたいです。これからも地域の皆様に信頼していただける施設作りを目指します。

特養介護職 石川 由美

開設三十周年という事でこの原稿を依頼されました。なぜひまわり荘勤務五年程度の私に・・・と少し困惑しましたが、思い返せば二十数年前の私が学生だった頃、デイサービスの実習生として

ひまわり荘でお世話になった事がありました。当時の施設長が、「デイでは、その日その日が利用最後の日です。だから一日一日を精一杯関わらせていただいています。」と利用者への思いを熱く語って下さった記憶が蘇ってきました。

今、私は特養で働いていますが、利用者の方には施設にて安全で穏やかな日々を送っていただけるよう丁寧な介護を心掛けています。また、廊下には行事や季節毎に撮った利用者の写真がたくさん飾ってあります。ケークを笑顔で食べてもらえる写真等、利用者の様々な表情があり、働く私達も癒されています。

これからも、ひまわり荘から見える景色と一緒に眺めたいですね。



特養看護職 田中 圭子

ひまわり荘三十周年おめでとうございます。長いひまわり荘の歴史の中で、私はほんの二年しか関わっておりませんが、日々の業務の中で思うところを綴らせていただきます。

特養に入所されている方は、終の棲家として暮らしている方が多いと思います。終の棲家という事は、ひまわり荘で人生を閉じる方も多く居られるという事です。

最期の時をひまわり荘で迎える場面に何度か立ち会いましたが、私がそれまでに勤務していた病院との大きな違いを感じました。病院は治療を目的とするがゆえに、高齢で身体機能が限界を超えていても点滴や経管注入など終末期には不要かもしれない医療行為をせざるを得ないところでした。呼吸が不安定になり血圧が下がればモニターを付けられて、呼吸が止まり心停止するとモニターアラームが鳴り響くという最期です。

一方ひまわり荘では、高齢で嚥下が限界になり、食事形態を工夫しても水分しか摂れない状況となり、水分も摂れなければそのまま最期の時を見守る…。すると不要な薬剤も水分も身体に入れない事もなく、枯れるように最期の呼吸をされて人生を閉じられるという姿でした。

「老衰の最期は、食べられなくなるから亡くなるのではなく、向こうの世界に行く準備として食べなくなるのだ」ひまわり荘で開催された勉強会で聞いた言葉が印象深く残っています。高齢であっても、人生を閉じるという事はご本人にとってもご家族にとっても受け入れ難く悲しい事です。

せめて人間らしくご本人もご家族も納得できる最期の時間を送るお手伝いをしたいと思いました。入所されている方とご家族がここで最期を迎えたいと覚悟を持たれた時に、後悔ないように寄り添えらるる看護職員でありたいと思っています。

特養栄養士 山本 歩

食事は栄養を摂るという事だけでなく、四季を感じたり日々の楽しみとなったりしているものです。

行事食は昔からの伝統を受け継ぐものです。まず一年の始まりとしておせち料理があり、おせちの食材にはさまざまないわれがあります。その後七草粥と続いていきます。また年の終わりには年越しそばを食べて一年を締めくくります。当施設でも行事食を取り入れた献立を考え、一年の流れを感じてもらえるよう日々努力しております。

ご利用者の声に耳を傾け、食べたいものを把握し、毎日を楽しみにしてもらえよう安全安心な食事を提供できるよう努力していきます。



特養事務職 津田 千珠

私はこの四月から新卒で事務員として働き始めました。緊張していた私を暖かく迎え入れてもらい、嬉しく思っています。

私は今まで介護に関わった事はありませんでした。しかし、昨年に他界した祖父がひまわり荘デイサービスでお世話になり、介護を身近に感じました。祖父は生前、デイサービスから帰ってくると、「楽しかった」と笑顔で話していた事を今でも覚えています。

祖父のように、ご利用者やご家族も笑顔になれるよう事務員として頑張りたいと思います。

まだまだ至らぬ点多々ありますが、この職場で働かせてもらえる事に感謝し、日々精進していきたいと思っています。



居宅介護支援事業主任 三輪 ちえみ



私はひまわり荘で最初は介護職員として、次にケアマネージャーとして、足して早十八年が経とうとしています。介護の仕事は奥が深く、どれほど経験を積もうとこれで充分と思う事はありません。今は居宅ケアマネージャーとして在宅での介護を支える立場ですが、身体の不自由さや認知症を抱えるご利用者やご家族の思いは様々で、対応にもこれが正解、というものはありません。どうする事がご本人やご家族にとって一番良いのか、不安を解消できるのか、自問自答する毎日です。関わらせていただく中で、笑顔が見られた時、不安だったサービスが入りこれで安心したと言っていた時は本当に嬉しいものです。まだまだ足りない私ですが、その時その時のよい方法をご利用者やご家族と共に一緒に考えさせていただきたいと思っています。

今から五年ほど前に、特養からグループホームに異動になり、初めは特養とグループホームの違いに戸惑うばかりでした。

慣れてきてからは、ご利用者と共に掃除をしたり料理をしたり、散歩やドライブ、近年では新型コロナウイルスの影響で企画できませんが、買い物に行ったりお祭りに参加したりなど、日々の生活の中でご利用者と一緒に地域の行事に参加して地域連携に取り組んできました。ご利用者が少しでも楽しく豊かに生活できるように色々と工夫し一緒に考えながら企画したり、準備をしたりと『何事も助け合いながら生活を豊かに楽しく』を目標に、日々取り組んでいます。

外出できない日が続いていますが、室内や施設敷地内で春には枝垂れ桜の下で食事やおやつを頂き、夏から秋にかけては花火や縁日を企画して、昔ながらに季節折々の行事をご利用者と共に考え、一緒に豊かに生活できればと考えています。



福崎の家介護職 石堂 めぐみ

ひまわり荘に勤務し十九年目となりました。二〇一六年～二〇二〇年を振り返って思うのは、やはりコロナウイルスにより大変な状況である事です。ご家族とご利用者の面会が中止となり、顔を合わせ手を取り合って話をするという事ができなくなり、双方が寂しい思いをする事になりました。それによりご利用者の活気がなくなり、認知機能が低下した一面もあったかと思えます。

そのような状況の中、私は体調を崩して入院しました。介護している側から看護される側となり、家族との面会もできない中、看護師さん達の優しさに触れ、自分もご利用者に寄り添い、思いを理解できる職員でありたいと改めて思いました。

回復し勤務を始めてから、一日一日を悔いのないように対応するという事を大事にしています。誰しも明日はどうなるか分かりません。こうすればよかったと後悔する事のないように、日々心掛けていきます。これからも自分なりに頑張っていけたらと思います。



私がデイサービス主任として従事してから約一年半が経ちました。利用者や利用者家族の方に対し、地域での在宅生活の支えとなるよう日々関わらせていただいています。ひまわり荘での勤務も十六年ほどになり、ひまわり荘の歴史の半分も関わってきたと思うと感慨深いものがあります。

近年では急激な少子高齢化や世帯の縮小化、社会的孤立や希薄化が進んでいく中でひまわり荘として創設三十年の蓄積を地域の為に、より還元していく必要を感じ続けています。

一人ひとりが共に支え合う地域共生社会に向け、住民や地域、様々な職種との連携を図りながら、地域福祉の一つの拠点としてひまわり荘が支えていかなければなりません。「介護が必要になっても、ひまわり荘があるから大丈夫」という安心を伝え、感じていただき、これからも住み慣れた家や土地で暮らせる地域社会にしていく事が今の私のデイサービス主任の使命と責任であると感じています。



二〇一六年頃は、利用者の方と一緒にやつ作りや料理も行い、買物ツアーにも出掛けていました。年が明けると初詣、春にはお花見、夏には夏祭り、秋には運動会や収穫祭など楽しい行事も行っていました。

ところが：二〇二〇年に新型コロナウイルスが発生し、社会的距離の確保、消毒、換気の徹底、パターションの使用やマスク着用などの感染対策も必要となり、レクリエーションの制限もありました。ご利用者も職員も今まで経験した事のない不便な状況の中でしたが、感染対策を行い、楽しい一日を過ごしていただけるように職員同士が相談し試行錯誤しながらですがサービスを提供しています。

ひまわりの広場主任

藤本 沙織



まだこの状況がいつまで続くかは分かりませんが、以前のように声を出して笑い合ったり、お出掛けや行事を行える日が早く来る事を願っています。

今後も職員同士で助け合いながら、楽しく満足した一日を過ごしていただけるようご利用者と関わっていききたいと思います。



私の勤務する訪問サービスは、サービス付き高齢者向け住宅「プラチナスクエアひまわり」内にあり、サ高住では安心安全で自由な環境を提供し、その方らしい人生を送れるようにお手伝いしています。また、入居により、ご家族の負担の軽減が図れ、より良い家族関係の再築につながっています。

日々の介護では、人生の先輩である入居者のお話を伺う事は私自身の学びとなっています。同じ経験をしていても捉え方は様々です。その方の思いに共感を持って傾聴し、寄り添い、今よりちょっと前向きな気持ちになっていただけるように心掛けています。

これからも、根拠に基づいて安心安全で丁寧な介護を行い、日常の中に幸せを感じていただけるよう学びを深めたいです。超高齢化社会が抱える老々介護や高齢単身世帯等の問題解決に、サ高住は大きな役割を担っています。「ここに入居してよかった」と思っていたらできるよう、入居者もスタッフも一緒に楽しく過ごしていきたいと思っています。



サ高住管理者

武村 たまき



今は成人した末娘が三歳になったところ、縁あってひまわり荘で働くことになりました。初めて覗く特養は、驚くことも沢山ありましたが、『自分も自分の家族も利用したいと思うサービスの提供』の基本方針の下、真摯に頑張っている職員の姿が印象的でした。

その後、ショートステイ、グループホーム、デイサービスと様々なステージでのご利用者やご家族と接する機会がありました。

そして、昨年からはサ高住に勤務しています。ここには、長年住み慣れた家を離れ、新しい暮らしを始められている、いわば『時代の先駆者』の皆さんがおられます。毎日ウォーキングされている方から、介護を必要とされる方まで、いろいろな方が一緒に生活されているので、「安心、安全を確保しながらも豊かな生活を送っていただくにはどうすれば良いか」と、試行錯誤の日々です。

正解は一つではないと思うので、柔らかな頭と心を忘れずに、ここに来てよかったと感じていただけるよう、皆で精一杯の知恵を出していきたいと思っています。

毎日時間を決めて
ラジオ体操を実施

対策をして外出



週 2 回の移動販売



「三十年を振り返って」

社会福祉法人正寿会は、先代施設長と事務長が、自分の親が安心して入所できる施設を運営したいという思いを具現化しようと特別養護老人ホームひまわり荘を創設したのが始まりです。施設の設立自体は平成三年度で、その二年前、平成元年は消費税が導入され高齢者保健福祉推進十か年戦略（ゴールドプラン）が策定された年でもありました。少子高齢化による福祉の需要にどう応えるかが、既に大きな課題となっていたのです。

福祉のあり方の返遷を改めて辿ってみますと、地域社会や家族を中心としたかつての相互扶助の時代から、やがて国による制度の時代に入り、その制度も措置制度から契約制度へと変化し、それとともに障害を持つ方や高齢者の自立とノーマライゼーションという課題もクローズアップされるようになりました。社会保障・税一体改革における二〇二五年モデルの実現に一定の目処がたった今、高齢者人口がピークに達するとされる二〇四〇年を見据え、現役世代の人口減少に伴う医療・介護の担い手不足にどのように対応するかが次の課題となっています。また、医療需要はピークアウトを迎えることが予想され、今後も介護需要は増すばかりです。その解決に向けた動きは既に始まっており、例えば二〇一九年に本格化した外国人材の活用は、そうした課題解決の重要な糸口として大きな期待を寄せられています。

さて、正寿会は、創立後三十年に渡り、福祉及び介護の普遍的価値を見詰め、施設の基本方針「自分も自分の家族も利用したいと思うサービスの提供」を実現すべく、市川町を中心とした地域における高齢者ケア向上のため、ノーマライゼーションの実践に努力し、加えて国の制度では賄えないところにも目を向けるようにしてまいりました。現在では、市川町に特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービス・グループホーム・居宅介護支援事業所、福崎町にはデイサービス・グループホーム・訪問介護・サービス付き高齢者向け住宅などその時代毎の福祉ニーズに合わせた事業を展開するまでになっております。これもひとえに、各自治体関係者

政の方々、ご利用者・ご家族・地域住民の方々、そしてボランティアの皆様など、大勢の方々のご協力があったからこそ成し得たことに違いありません。心より深く感謝申し上げます。

これまで私どもの運営を顧みますと、ご利用者の人権を常に考え、福祉・介護サービスの質の向上に寄与してまいりました。また、地域で発生する各種の生活課題には積極的に対応し、地域における公益的取り組みを推進し、支え合う地域の実現に努めてまいりました。三十周年は、当法人にとりまして未来への一つの通過点と言えます。先人が「花は野にあるように」という言葉を残しております。いたずらに整えようとせず、一人ひとりの職員が出来る限り自然体で生命の大切さを実感できるようなケアを実践していければと思います。役職員一同、社会福祉法人として非営利法人にふさわしいガバナンスを備えた独自性のある法人経営に邁進したいと考えます。社会福祉法人正寿会の職員は、絶えず現場感覚を大切にし、現状に満足することなく介護の質にこだわり、思いやりを持つて対応すること、一人でも多くの方に小さな幸せを感じてもらえる様、地域社会の福祉・介護の向上に貢献していくことが私たちの使命であると考えております。これからも当法人への一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。結びに、この記念誌の発刊に際し、ご多忙にもかかわらず、ご寄稿いただきました各各方面の皆様には深く感謝申し上げます。

施設長
高瀬 佳世



サービス付き高齢者向け住宅

プラチナスクエア ひまわり



入居者募集中！

- 24 時間コンシェルジュ常駐
- グループ全体のサポート体制
- 全室南向き
- 入居一時金は一切不要
- 60 歳以上の方対象

入居相談受付中(9:00～16:00)

Tel 0790-35-8778

E-Mail

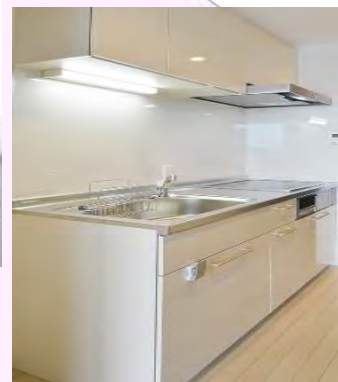
puratinahimawari@movie.ocn.ne.jp



ご自分のペースで、安心して暮らしたい方に安全で快適な住まいを提供いたします



全居室にキッチン・お風呂
トイレ・収納を完備しています



お食事は、食堂でご用意することもできます。スーパー等の移動販売もあります



各フロアには談話コーナーがあります



「お茶会」や「茶話会」など
季節に合わせた
ちょっとした行事で
和やかなひと時



ひまわり荘の唄

作詞 後藤まつゑ
作曲 ジョージ岩倉

一、緑の山に囲まれた
せせらぎ清き山里に
白くそびえるこの館
これぞ市川ひまわり荘

二、春はうぐいす谷渡り
夏は谷間の風涼し
秋はもみじ栗拾い
冬は真白き雪が舞う

三、苦難の道を乗り越えて
車の椅子に乗る日まで
力の限り働いて
人生航路を生きてきた

四、老いの余生をここに来て
若くやさしい愛の手に
心をいやす明け暮れは
これぞ市川ひまわり荘

特別養護老人ホーム

ひまわり荘

神崎郡市川町下牛尾680

Tel.0790-27-0800

Fax.0790-27-0600

ひまわり荘

ショートステイ

神崎郡市川町下牛尾680

Tel.0790-27-0800

Fax.0790-27-0600

ひまわり荘

居宅介護支援事業

神崎郡市川町下牛尾670

Tel.0790-27-1330

Fax.0790-27-0600

デイサービス

ひまわりの広場

神崎郡福崎町西田原1693-3

Tel.0790-24-0300

Fax.0790-24-0600

グループホーム

ひまわり荘福崎の家

神崎郡福崎町西田原1693-3

Tel.0790-24-0400

Fax.0790-24-0600

社会福祉法人 正寿会

〒679-2302

兵庫県神崎郡市川町下牛尾 680

TEL 0790-27-0800

FAX 0790-27-0600

URL <http://www.himawarisou.or.jp>

Mail info@himawarisou.or.jp

ひまわり荘

デイサービス

神崎郡市川町下牛尾680

Tel.0790-27-1230

Fax.0790-27-0600

ひまわり荘

訪問サービス

神崎郡福崎町福田118-3

Tel.0790-35-8778

Fax.0790-23-1305

グループホーム

ひまわり荘

神崎郡市川町下牛尾2537-1

Tel.0790-27-0900

Fax.0790-27-0600

サービス付き高齢者向け住宅

プラチナスクエアひまわり

神崎郡福崎町福田118-3

Tel.0790-35-8778

Fax.0790-23-1305

